

パンデミックと闘い より公平で健康な 世界を構築

グローバルファンド戦略 (2023–2028年)

エグゼクティブサマリー



グローバルファンドのパートナーシップは過去20年間に4400万の命を救い、支援対象国におけるエイズ、結核、マラリア(以下、三疾患)による年間死亡者数はピーク時から46%減少しました¹。我々、すなわち事業実施国の政府²、市民社会、技術パートナー、開発パートナー³、民間セクター、そして三疾患の影響を受けている人々やそのコミュニティ⁴からなるグローバルファンドのパートナーは、協働により障壁を克服し、命を救い、これらの恐ろしい三大パンデミックの蔓延の軌道を劇的に変えられることを証明しました。

今、我々は岐路に立っています。新型コロナウイルス感染症による打撃は大きく、すでに存在する不平等を悪化させ、重要な資金や人材が転用され、三疾患の予防や治療に欠かせない活動へのアクセスが妨げられ、脆弱な人々がさらなるリスクにさらされています⁵。2020年はグローバルファンド発足後初めて、三疾患対策すべての主要な成果が下降に転じました。2030年までに三疾患の流行を終息させるという持続可能な開発目標(SDG)までわずか8年というときに、新型コロナによって三疾患対策の進捗は大きく軌道からそれました。

グローバルファンドはこれらの難題に対し、軌道を戻し、SDGに掲げるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成に貢献するための新しい果敢な戦略を策定しました。支援の効果をより高めるため、我々は以前にも増して公平性や持続可能性、プログラムの質、イノベーションに注力し、人権やジェンダー関連の障壁に取り組むために断固とした行動をとります。また三疾患との闘いを梃に、健康と福祉をもたらし、将来のパンデミックの予防や早期発見、迅速対応を可能とする包括的かつ強靱で持続可能な保健システム構築を支援します。我々は、エイズ、結核、マラリアの病苦から解放され、すべての人にとってより良い、平等で、健康な世界を目指します。

公衆衛生の脅威である三疾患の流行を終息するという使命を達成するため、触媒作用をもち、人間中心の投資にさらに焦点を当て、進展に拍車をかける必要があります。特に三疾患すべてにおいて、新規感染者数のさらなる低減に注力し、構造的な障壁に取り組むとともに、予防ツールや手法においてイノベーションを活用します。エイズ対策では、特にキーポピュレーション[訳注:エイズ対策を進めるうえで鍵となる集団]や、最も脆弱なグループに焦点を当てながら、より公平で、より人々のニーズに応じたサービス提供モデルを用いて、予防と治療のカバー率のギャップを埋めていきます。結核対策では、予防や治療プログラムへのアクセスやプログラムの質を阻害する、人々のリスクへの脆弱性や障壁、隔たりを克服しなくてはなりません。マラリア対策では、地域の状況やニーズにより応じた、人々を中心とした包括的支援の提供に焦点を当てます。また、公平なアクセスに関わる問題に取り組み、サービスの質を改善し、薬剤耐性に取り組み、根絶への道を示します。三疾患との闘いに引き分けはなく、勝つか負けるかです。新しい戦略は、我々の総力を結集し、また倍増させて、特に最貧困層や最も脆弱な人々、また社会的弱者のコミュニティから依然として数百万人もの命を奪っている三疾患を終息させることを目的としています。誰もが、どこにいようと、三疾患の脅威にさらされない — グローバルファンドはそのために設立され、その成否は最終的にそこで判断されます。我々はこの目的達成のために最大限の努力をしています。

4400万人の命が

グローバルファンドのパートナーシップにより救われました

グローバルファンドの目的達成に向けて、我々特有のパートナーシップを核とした強みと比較優位を活用した、相互に補強しあう4つの目標を基盤としています。

第一に、重複感染や合併症を含め、三疾患や関連疾患の発症を抑制するための投資を通じて、強靱で持続可能な保健システムを構築します。従来の疾病ごとの縦割り型の対策から、人々を中心とした包括的予防・治療・ケアのモデルへの移行を促進し、個人の健康ニーズが満たされるようにします。最貧困層と社会的弱者に焦点を当てつつ、国々が真のUHC実現に向けて前進できるよう支援していきます。

第二に、新戦略はグローバルファンドならではの強みを活かし、三疾患の影響を受けているコミュニティができる限り参加しリーダーシップを発揮できるよう促し、誰ひとり取り残されることなく、最もリスクの高い人々のニーズに応じるための保健サービスを提供するという明確な目標を導入しています。コミュニティがすべての活動の中心であるというこの原則が、新戦略の中核です。



往診で村落を訪れるインド・メーガラーヤ州の地域保健ワーカー。グローバルファンド支援対象の国々では、200万人を超える地域保健ワーカーが最前線で活躍しており、三疾患のサーベイランスや予防、治療、ケアを支援が届きにくい脆弱なコミュニティに提供している。
The Global Fund/Vincent Becker

第三に、新戦略では保健サービスへのアクセスの公平性、ジェンダーの平等、人権保護を、三疾患対策支援とより深く統合して、最大限に推進する必要がありますと強調しています。これにはどこに格差があるのかを特定して対策を講じるためのデータ利用の拡大や、人権およびジェンダー関連の障壁を取り除くための包括的なプログラムの拡大、ならびに悪しき法規制や政策、習慣に対して我々が声を上げ異議を唱えることが含まれます。

第四に、新戦略は特に、新型コロナウイルス感染症による三疾患対策の停滞を鑑みて、より多額の資金動員が必要であることを示しています。事業実施国の政府もドナー国も、パンデミックにより前代未聞の財政問題に直面していることを踏まえたうえで、実施国内やドナー国からさらなる資金を動員するために、果敢で革新的な取り組みを行うと同時に、より高いバリュー・フォー・マネー（VfM: 最も価値のあるサービスを提供すること）を追求していきます。

さらに、新戦略は、世界の保健における劇的な変化に対応するために、将来のパンデミックへの備えおよび対策（PPR）に関する、発展的な目標を導入しています。この新たな不可避の課題に、我々のパートナーシップの持つ知見と包括的モデルをもって臨むことで、三疾患対策における進展を守ることができます。将来のパンデミックへの備えおよび対策の目標を掲げることにより、グローバルファンドはパートナーとともに国際的な新型コロナ対策で重要な役割を果たし、将来のパンデミックの脅威に対して保健システムと三疾患プログラムの強靭性をさらに強化することができます。また、パンデミックの可能性を持つ新たな病原体の発生予防や検出、またその対策に関して国やコミュニティを支援し、気候変動に起因する健康への多面的な脅威にも取り組むことができます。



グローバルファンドの支援により開発されたアプリ「TeCuidamos.com」の使用法を説明するコロンビア・ボゴタのエイズ活動家で地域保健ワーカーのケニー・エスピノサ氏。グローバルファンドの支援により開発されたアプリは、男性とセックスする男性やトランスジェンダー、その他の脆弱な人々に、遠隔でHIV診断と予防サービスを提供している。

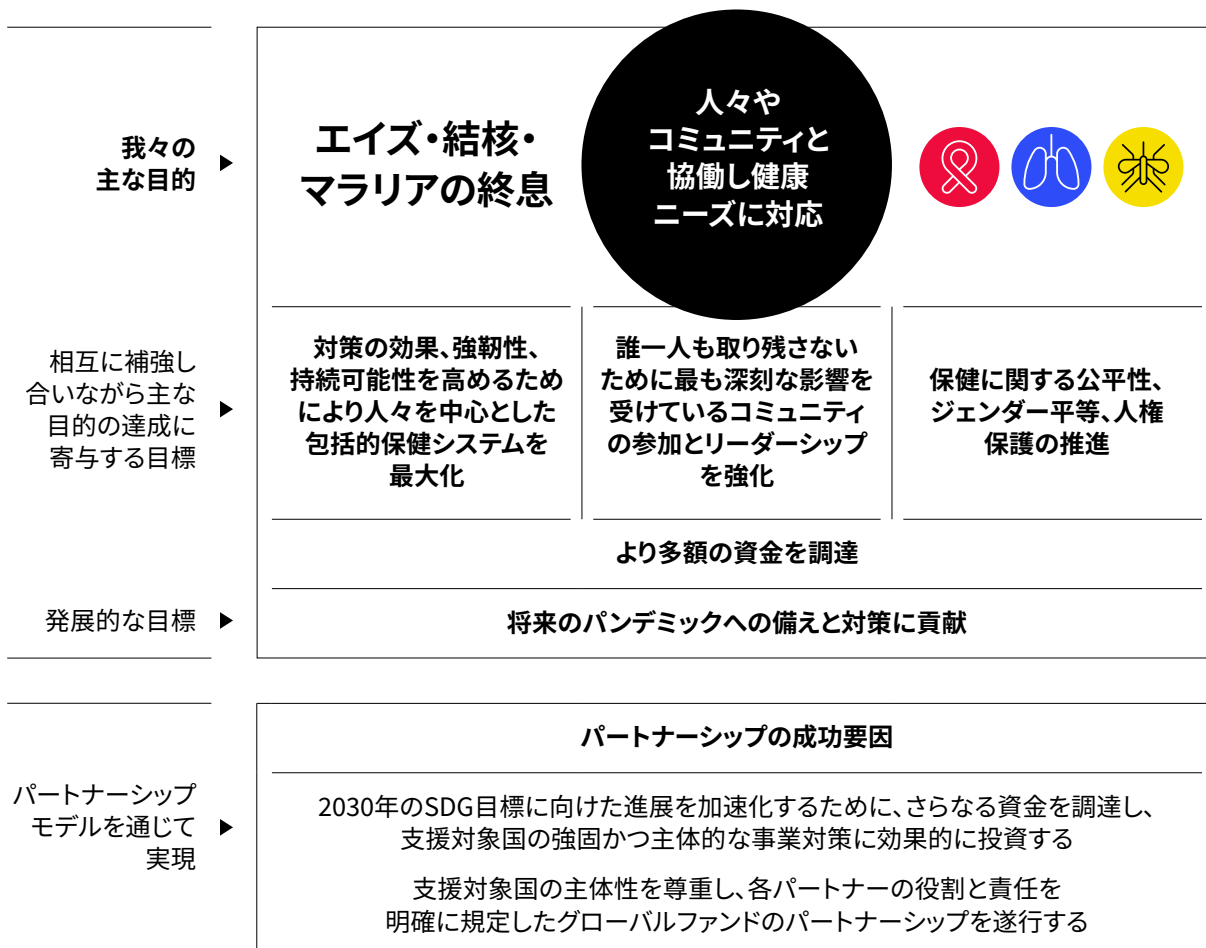
The Global Fund/Joe Miguel Rodriguez/Panos

最後に、新戦略の遂行と目標の達成は、我々の素晴らしいパートナーシップのメンバーがそれぞれの役割を明確かつ補完的に果たすことにかかっています。グローバルファンドのモデルは、各事業実施国の政府の主体性とパートナーシップの原則に基づいています。事業実施国の政府は、国民やコミュニティのニーズに応じた、強固で公平な保健システムと疾病対策プログラムを提供するという重要な役割を担っています。またコミュニティは、自分たちのニーズを最もよく満たす方法を導入し、誰一人取り残さないためのプログラムを促進する責任があります。市民

社会、技術パートナー、開発パートナー、そして民間セクターそれぞれが自らの役割を果たす必要があります。新戦略は各パートナーの役割と責任を明示し、我々すべての成功に向けた分担を明確にしています。また新戦略は、プログラムの効果を最大化し、実施を加速化するために、従来の取り組み方を発展させ、より効果的に協働しなければならないと強調しています。2030年まであとわずか8年、一刻の猶予もありません。

グローバルファンド戦略の枠組の概要

主な目的の達成に寄与する目標の概要を含む戦略枠組全体はグローバルファンドのウェブサイト⁵を参照。



新戦略の特徴

グローバルファンドの主たる目的は**エイズ、結核、マラリアの終息**であり、そのためにグローバルファンドのパートナーシップが創設され、我々の成否は本目的をベンチマークとして判断される。我々の基本理念も変わらない。グローバルファンドはパートナーシップとして機能し、事業実施国の政府や三大感染症の影響を受けているコミュニティ、ステークホルダーが三疾患との闘いに必要な医療手段やツールを活用することにより、目的は達成される。成果を重視することにも変わりはない。我々の業績は、最終的には救った命の数と新たな感染の回避で評価される。

しかし、すべてを網羅するリストを作るとなると、本書の内容の大半を反復することになるため、例示的ではあるが、グローバルファンドのパートナーシップの新戦略のうち、実施の加速を促す10の例を以下に挙げる。

| | |
|--|---|
| 1. 三疾患すべてにおいて、予防をより強化。 これまで感染者数の低減よりも救命により大きな成果を挙げてきたが、三疾患を終息させるには、脆弱なキーポピュレーションなどにおける新規感染者数を大幅に減少させる必要がある。 | 6. 対策プログラムとそれを支える資金の持続可能性をより重視。 これまでの前進が打撃や逆風に屈することなく、勢いが保持できるようにする。 |
| 2. 人々を中心とした包括的な保健サービスに注力。 疾病ごとの縦割りのサービスを超えて、複数の病原体から人々を保護し、人々のニーズに対応するとともに、すべての人の健康と福祉を支える土台となる強靱で持続可能な保健システムを構築する。 | 7. イノベーションの公平な展開とアクセスを促進することにより注力。 パートナーと協働して、調達から供給網のエンド・ツー・エンドの視点で、最も必要としている人々への展開のボトルネックを迅速に解消する。 |
| 3. コミュニティ・システムの強化と統合をより体系的に支援。 三疾患を終息するために不可欠なコミュニティの重要な役割を認識し、コミュニティ・システムの強靱性と持続可能性を強化する。 | 8. データに基づく意思決定をより重視。 高質かつ細分化されたデータの迅速な分析、統合および活用を可能とするシステム開発と能力構築に投資する。 |
| 4. 三疾患とともに生き、影響を受けているコミュニティの役割と発言力を強化。 グローバルファンドのパートナーシップならではの強みをさらに強化して、効果的な参画とリーダーシップを阻む障壁に挑み、最も影響を受けているコミュニティを我々の活動すべての中心に据える。 | 9. 将来のパンデミックへの備えと対応においてグローバルファンドのパートナーシップが果たせる、また果たすべき役割を明示。 他のパンデミックの連鎖反応による三疾患への甚大な影響と、この分野におけるグローバルファンド特有の立場に鑑みて、パートナーと協働して、グローバルファンドの役割と責任を定義する必要性を明示する。 |
| 5. 不平等、人権およびジェンダー関連の障壁に対処するための活動を強化。 既存の活動を拡充し、これまでの経験を踏まえ、さらに高い目標を掲げる。 | 10. 戦略の全ての側面において、グローバルファンドのパートナーの役割と責任を明示。 この戦略を遂行するにあたり、各パートナーが相互に責任を負うことを明確に示す。 |



個人防護具を装着したマダガスカルの医療従事者。新型コロナウイルス感染症により、エイズ、結核、マラリアを含む他疾患への対応に支障をきたすなど、国内の保健システムが逼迫している。World Bank/Henitsoa Rafalia

- 1 2021年グローバルファンド成果報告書
- 2 事業実施国政府とは、国、地方自治体、その他行政区レベルの政府を含む。
- 3 開発パートナーとは、包括的に資金や知見(および多くの場合、対策事業の実施能力)を提供する二国間および多国間機関を指し、グローバルファンドへのドナー、二国間援助プログラムがあるドナー国、専門知識を提供する組織などが含まれます。グローバルファンドの技術パートナーは含まれません。
- 4 エイズ、結核、マラリアとともに生き、影響を受けているコミュニティで、脆弱なキーポピュレーションを含みます。
- 5 https://www.theglobalfund.org/media/11223/strategy_globalfund2023-2028_framework_en.pdf